

# ビックセンター 探訪②

二戸市ビックセンター  
☎25-5411

## お花畑に浮かぶ謎!?の文字

抜けるような青空が広がり、毎日暑い日が続いていますが、皆さん夏バテ気味ではないですか?こんなときは、お花観賞で疲れた心と体をいやしてみてはいかがでしょう。

シビックセンターの裏手にある多目的(芝生)広場を通り、馬淵川公園沿いの遊歩道へ向かうと、5坪ほどの花壇が整備されています。この花壇には、花いっぱい運動の一環として、マリーゴールドやメランポジウムなど4種類の花が植えられています。色鮮やかな花たちが、きつと皆さんの目を和ませることでしょう。



隠れている字は? (ヒント…カタカナ3文字です)

この花壇、ごく普通の花壇のように見えますが、実はよく見ると花の中にある文字が浮かんでくるんです。書かれている文字は何か、ぜひ当ててみてください。  
ヒントは、  
①赤いケイトウの花で書かれています。  
②私たちの住むまちは何? 来年の花壇コンクールへの参加を考えている皆さん、参考までに観賞してみてくださいいかがでしょうか。

# こみゆにTeaたいむ

2 標目

## 宝に触れ、感じてみよう

本市の『宝』は、広く市民が慣れ親しみ、誇りとし、育まれてきた自然や歴史、文化及び人物など広い範囲にわたるものですが、とりわけ巨木は、身近に触れ、実感できるという点から最も親しみやすい宝です。

浄法寺地域において、住民の皆さんからの聞き取りとアンケート調査で寄せられた情報を基に約40本について幹周りの測定など調査しましたので、その代表的なものについてお知らせします。

巨木の代表「カツラ」の木…多くのカツラの根元には溪流や湧き水が流れ、水との関わりが深く、天台寺の桂清水など信仰の対象となっているものも数多く見られます。二戸市内にある巨木の上位の多くはカツラの木で占められています。天台寺参道の登り口にあるカツラは幹周りが1,295cmあり、二戸市で幹周りが一番大きい木です。併せて境内には幹周り1,070cmのカツラもあります。続いて、飯近のカツラ(1,005cm)、飛鳥のカツラ(900cm)となっています。

また、そのほかの樹種でも、イチョウ…天台寺(960cm)、トチノキ…早坂(540cm) 小又(515

cm)、センノキ…馬洗場(577cm)、ツキノキ…柿ノ木平(450cm)、スギ…大森(450cm) 樋口(400cm)、マツ…大久保(365cm) や途中から2本に分かれた立ち木の美しい小泉の夫婦ヒバ(336cm)なども確認されました。

二戸市内にはたくさんの巨木があります。地域の歴史や文化、信仰に溶け込みながら長い間守られてきた宝「巨木」を訪ね歩き、感じてみてはいかがでしょうか。

現在、市では浄法寺地域の宝さがしを行っています。皆さんの知っている巨木の情報をお寄せください。(その他の宝の情報もお待ちしています)



桂清水のカツラ

- ◆二戸市内の巨木  
【幹周り順位別】◆
- ① 1,295cm 桂清水のカツラ (天台寺参道登り口)
  - ② 1,200cm 小池のカツラ
  - ③ 1,070cm 天台寺のカツラ
  - ④ 1,005cm 飯近のカツラ
  - ⑤ 970cm 霧ヶ久保のカツラ
  - ⑥ 960cm 天台寺のイチョウ
  - ⑦ 900cm 飛鳥のカツラ
  - ⑧ 780cm 寺久保のイチョウ
  - ⑨ 750cm 寺崎のカツラ
  - ⑩ 750cm 元上野のカツラ (太字は浄法寺地域のもの)

(注) 現在も引き続き浄法寺地域の巨木調査を実施していますので、今回の順位は中間報告となります。

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課(内線655)まで